

## 指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

		管理No.	
施設の名称	山形県産業科学館	指定管理者	山形県産業科学館共同管理者
所在地	山形市城南町1-1-1 霞城セントラル内	県担当課 (電話番号)	山形県産業労働部 産業技術イノベーション課  (023-630-2312)
指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日		
検証期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証	
------	--------------	------------------	--

## 1 仕様書等に沿った管理・運營業務の履行状況

① 管理・運營業務の履行状況	新型コロナウイルス感染症対策により制限付きの開館が続きましたが、3月14日からは入口の制限を解除し、徐々に来館者数がコロナ前に戻りつつあります。年間の来館者は77,127人で、コロナ前の平成30年度比で34.2%と大幅な減少となっていますが、昨年度に対しては32,094人の増となっています。この結果は、感染症対策に取り組んだ結果であり、むしろ、館に起因するクラスターや臨時休館が発生しなかったことを評価したいと考えています。また、月1回定期的に、県、産業科学館、指定管理者の情報交換会を開催し、管理・運営のための情報共有に努めました。	評価	<<評価の理由>> ・仕様書及び事業計画に沿った適切な管理運営が行われている。 ・コロナ禍の中、感染防止対策を行うとともに、来館者を呼び込むイベントを開催する等、コロナ前の状況に戻すよう努めた。 ・施設、設備等の老朽化に伴う修繕について、優先順位の高いものから適確に更新を図っている。
		A	
② 管理・運営上の課題、問題点(改善すべきこと)	①新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、推移を注視しながら来館者数をコロナ禍の前に戻していくことが重要と考えています。 ②コロナ禍をきっかけに登録を取り下げるボランティアが増え、新規登録者の呼びかけが必要です。 ③施設・設備及び展示物は経年劣化により、故障等の発生が頻繁になっています。また、施設の汚れが目立つ箇所も増えてきています。	<<課題等の原因分析>> ・新型コロナウイルスの流行前と比較すると、令和4年度の来館者数は大幅に減少している。しかし、令和3年度に比べると、入館者数は増加しており、これは指定管理者の努力によるものである。 ・ボランティアスタッフの登録者数について、スタッフの意向を優先したものであるため、仕方がないものとする。 ・施設開館から20年以上が経過しており、リニューアルをした2階以外のフロアについては、設備や展示物の老朽化が進んでいる。	
		課題、問題点への今後の対応 ・来館者や職員等の安全を第一に考えた上で、イベントを開催し、来館者数が増えるように取り組んでいく必要がある。 ・展示物だけではなく、施設設備も開館当初から設置しているものも多い。そのため、日々の点検により故障箇所を迅速に発見し、修繕の必要性や優先順位を見極め、計画的に修繕や更新を進めていく必要がある。	

## 2 利用者からの要望等への対応

① 意見・要望等及びその対応状況	2月に来館者アンケートを実施しました。①感染防止対策については、「徹底している」と「まあまあ」を合わせて99%で、良い評価と考えています。②職員の対応と展示物の清潔感、どちらも「良い、はい」が90%弱で、「ふつう」を合わせて100%で、良い評価と考えています。③休館日は「今のままで良い」が99%、開館時間は「今のままで良い」が92%で、現段階で変更の必要はないと考えています。④充実を希望する展示分野は複数回答で、宇宙が一番多く、ロボットがそれに続いており、展示の充実や関連団体等との連携等を模索したいと考えています。	評価	<<評価の理由>> ・来館者にアンケートを実施し、利用者の意見・要望等の把握に努めており、肯定的な評価を得ている。
		A	
意見・要望等への今後の対応	今後も来館者へのアンケートを基に、ニーズを的確に把握し、モノづくり企業や関係団体との連携を図りながら、サービスの向上に努めていく必要がある。		

## 3 指定管理者制度活用の効果

① サービスの向上	安心感をもって見学してもらうことを第一として、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底に努めました。イベント等においては、コロナ禍で協賛事業が伸び悩む中、企画事業イベントでSDGsや郷土の偉人、県内教育機関と連携した展示に努めました。特に、県内工業高校との連携は、今後につながるものと期待しています。	評価	<<評価の理由>> ・来館者が安心感を得られるよう、感染対策の徹底を行っている。 ・県内教育機関と連携して新しい企画事業を行う等、展示内容の充実に努めた。
		A	
② 経費の節減	節電やコピー用紙の削減に努めるとともに、4階照明器具の故障で既存の照明器具が生産終了となっていることが分かり、今後次々に更新が必要となるため29灯のLED更新工事を実施しました。電気使用量の削減にもつながるものと思われます。	評価	<<評価の理由>> ・これまでの施設運営管理のノウハウを活かし、計画的な設備更新を行う等、経費の節減に努めている。
		A	
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	新型コロナウイルス感染防止対策を第一として取り組んできましたが、5類に移行しましたので、来館者数をコロナ禍の前に戻していくことが重要と考えており、それが地域の活性化に繋がるものと考えています。また、コロナ禍をきっかけに登録を取り下げるボランティアが増えたので、新規登録を呼びかけ、研修会を再開し、ボランティア活動を活性化していきます。さらに、コロナ禍で協賛事業は少ない時期が過ぎましたので、関係団体等へイベント開催を積極的に呼びかけていきます。	評価	<<評価の理由>> ・コロナ禍により、ボランティアスタッフの登録者数及び協賛事業は減ったものの、登録しているスタッフと協力して運営することで、活性化及び雇用面で貢献している。
		B	

総合的な評価	<ul style="list-style-type: none"><li>・包括協定書に定める管理運營業務について、感染対策と来館者数増に向けた取組みを両立させ、迅速かつ柔軟に対応している。</li><li>・利用者のニーズに応じたイベントの開催、及び関係団体と連携した新しい企画事業を行っており、産業科学館の魅力向上に努めている。</li><li>・オープンから20年以上が経過し、施設や展示物の老朽化が目立ち、維持管理の負担が大きくなってきているなか、設置者である県と協力し、費用対効果を踏まえながら、適切な対応に努めている。</li></ul>
--------	--

**【評価指標】**

- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
- B : 概ね適正に実施されている。
- C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
- D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。